

平成19年度 オール東京62市区町村共同事業
「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」実績報告書

(単位:円)

事業名	予算額	支出額	残額	主な事業内容
Project.1 共同行動・連携による普及・啓発				
みどり東京・温暖化防止キャンペーン	20,000,000	11,832,593	8,167,407	<p>地域へのメッセージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●共通ロゴマークの作成 62市区町村での取組みを広くPRするため、公募により制定 (応募総数153作品の中から最優秀作品1点、優秀作品6点を選定し、10月3日に区政会館にて表彰式を実施) ●共通啓発物品の作成 多摩産材を活用したウッドチップ(4万3千袋)を作成し、市区町村のイベント等で配布 ●「チーム・マイナス6%」への加入・連携(加入年月日:平成19年8月1日) ●市区町村等が実施する事業との連携
	35,000,000	34,326,652	673,348	<p>子どもたちのメッ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●短編アニメーション「かれんと不思議の森」の製作 小学校6年生を対象に、東京の緑の保全と地球温暖化防止の取組みの大切さを伝える短編アニメーションを製作 制作会社: (株)共同テレビジョン 制作数量: 1,700組 (都内全小学校等へ配布)
みどり東京・温暖化防止プロジェクト助成	62,000,000	61,580,325	419,675	●市区町村が独自に実施する自然環境保護、地球温暖化防止事業に、1市区町村100万円を限度として交付
みどり体験交流事業	87,000,000	52,342,556	34,657,444	●自然環境に対する理解を深めるとともに、自然の中での集団生活の経験を通して子どもたちの健全な成長を促すことを目的として「海・山・里の体験事業」を10市町村で15回実施(参加者数: 499人)
Project.2 情報の共有、相互利用環境の構築				
温室効果ガス標準算定手法の共有化推進	12,000,000	3,200,000	8,800,000	●市区町村が共通利用できる温室効果ガス排出量の算定手法を検討
情報提供システムの構築	3,000,000	634,200	2,365,800	●本プロジェクトの周知、地球温暖化に関する地域への普及・啓発、情報交換・交流の場とすることを目的に、ホームページを開設(http://all62.jp)
Project.3 市区町村横断での活動の場の提供				
市区町村職員共同研修の実施	3,900,000	467,920	3,432,080	●「地球温暖化防止と自治体の役割」「都市のヒートアイランド」をテーマに計6回実施(受講者数: 335人)
合計	222,900,000	164,384,246	58,515,754	残額については、(財)東京都区市町村振興協会に返納

オール東京62市区町村共同事業
「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」共同宣言



かけがえのない地球を守ろう

～一人ひとりの力をつないで～

私たちの暮らす東京は、人口1,280万人を抱える世界有数の都市でありながら、多摩の山並み、武蔵野の雑木林のみどり、伊豆諸島・小笠原諸島周囲の美しい海原など、多様な自然環境を有しています。

一方、東京は人口や経済活動が集積し、資源やエネルギーの大量消費地としてCO₂の大量排出、ヒートアイランド現象、森林の荒廃、海洋汚染などさまざまな環境問題にも直面しています。

特に暮らしと密接な関係にあるCO₂は、オフィスや家庭でのエネルギー消費量が増大し、京都議定書の発効から2年が経った現在でも、削減の兆しが見えない危機的状況にあります。

今こそ、私たちは、地球環境問題の被害者であり加害者でもあることを改めて認識し、一人ひとりの力をつないで、東京そして地球の環境を守るため、できることから行動するときです。

東京62市区町村は、かけがえのない地球を守るために、連携・共同して「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」を展開し、次の行動を起こすことを宣言します。

- 一、CO₂削減につながる活動の普及に努め、省エネルギーの促進、温室効果ガスの排出抑制を図ります。
- 一、みどりの保全と地球温暖化防止対策を推進するための連携体制を構築します。
- 一、人々が、環境を考え、行動できる場を作ります。

2007年10月3日

Project.1 共同行動・連携による普及・啓発

1 みどり東京・温暖化防止キャンペーン

(1) 共通ロゴマークの作成

- 内 容 62市区町村での取組みを広くPRするため、153作品の応募の中から最優秀作品を選定し、共通ロゴマークを制定した。
- 効 果 各自治体の実施する環境イベントの際にも、プロジェクトのシンボルとして活用を図ることができた。
- 実施期間 平成19年6月～平成19年10月

共通ロゴ(公募により選定された最優秀作品)



櫻井 優理

東京都東村山市 19歳 専門学生

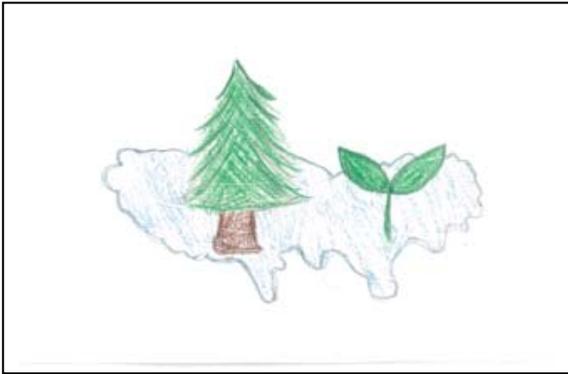
共通ロゴの公募について

都内在住の生徒・学生、または都内在学の生徒・学生を対象に、「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の取組みを地域の人々に周知するとともに、プロジェクトのシンボルとなるロゴを募集した。〔部門＝小学生、中学生、高校生、大学生（各種・専門学校含む。）の4部門〕

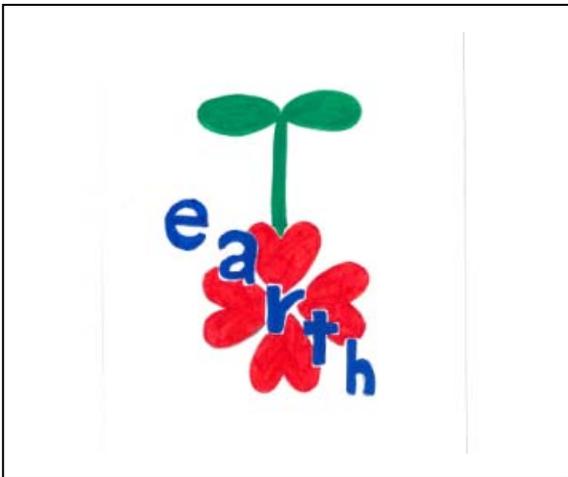
応募総数は153点。この中から、最優秀賞1作品、各部門別優秀賞2作品を選定した。10月3日、最優秀賞及び優秀賞の受賞者に表彰を行った。

【優秀賞作品】

【小学生の部】



【中学生の部】



【大学・専門学生の部】



(2) 共通啓発物品の作成

- 内 容 多摩産材を活用したウッドチップ4万3千袋を作成し、市区町村のイベントで配布した。
- 効 果 各自治体の実施する環境イベントの際にも、プロジェクトの普

及・啓発が図ることができた。

○実施期間 平成19年9月～平成20年3月

 オール東京62市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト

東京多摩産材で作った ウッドチップです

多摩産材は多摩地域で育った木材です。このウッドチップは、そこで育ったスギやヒノキの間伐材などから作りました。

森林の中を明るく保ち、樹木を真っ直ぐ、健康な森を育てるために抜きとったものを間伐材といいます。

注意：○ウッドチップのささくれによるトゲには十分注意してください。
○食べ物ではありません。特にお子様などには十分に注意してください。
○乾燥させていますが、保存方法によってはカビが生えることもありますのでご注意ください。
○花粉が混じることもありますので、アレルギーのある方はご注意ください。

東京都内の62の市区町村では、地球温暖化防止、みどりの保護に取り組んでいます。ウッドチップを通して、東京の森林に思いをはせていただき、環境を守る取り組みの大切さを感じていただければ幸いです。

楽しみ方の例

- 1 小鉢に入れて部屋に置き、香りを楽しむ。
- 2 鉢植えの鉢に敷いて森の風情を感じる。
など

※使用後は、ゴミとして捨てないで、できるだけ土にかえしてください。

主催：東京都市長会、特別区長会、東京都町村会
企画運営：財団法人東京市町村自治調査会
財団法人特別区協議会



ウッドチップ説明書及び本体

平成19年度 啓発物品配布数

自治体名	配送数
千代田区	100
中央区	150
港区	500
新宿区	1,500
文京区	300
台東区	30
江東区	150
品川区	500
目黒区	600
大田区	1,000
中野区	850
杉並区	2,000
豊島区	250
北区	2,500
荒川区	200
板橋区	300
練馬区	2,000
足立区	1,000
葛飾区	1,520
江戸川区	1,500
八王子市	750
立川市	300
武蔵野市	100
三鷹市	700
青梅市	1,000
府中市	100
昭島市	1,000
調布市	150
小金井市	500

自治体名	配送数
小平市	200
日野市	1,000
東村山市	200
国立市	100
福生市	1,000
東大和市	2,000
清瀬市	1,000
東久留米市	200
武蔵村山市	1,000
多摩市	500
稲城市	2,000
あきる野市	1,000
羽村市	1,000
西東京市	300
瑞穂町	2,000
日の出町	4,000
檜原村	100
奥多摩町	1,000
利島村	10
新島村	1,500
御蔵島村	200
八丈町	100
青ヶ島村	30
小笠原村	100
区市町村計	42,090
特別区協議会	100
自治調査会	810
合計	43,000

(参考) 配布団体数

区	20
市	23
町村	10
合計	53

(3) 短編アニメーションの製作（子どもたちへのメッセージ）

- 内 容 次世代を担う東京の子どもたちに、東京の緑の保全と、地球温暖化防止の取組みの大切さを伝える、15分程度のアニメーションを作成した。内容は小学校6年生理科の3学期の単元（生き物の暮らしと環境）の副教材として活用できるものとした。
- 効 果 従来の教材に比べて親しみやすく、分かりやすい内容のアニメーションとすることで、子どもたちの関心を引きつけるとともに、様々な場における啓発事業にも活用することが期待できる。
- 数 量 1, 700組
内訳 62市区町村 各4組、小学校 各1組（公立校1, 328校、国立6校、私立52校）



アニメのワンシーン

2 みどり体験交流事業

- 内 容 子どもたちが東京にある森、里、海などの自然環境をより身近に感じ、考えられるようにし、自然環境保護の将来の担い手を育成すること、また自然の中での集団生活を通して子どもたちの健全な成長を促すことを目的に自然体験プログラムを実施した。同時に東京における自然体験事業のモデルケースとしてノウハウを蓄積し、各市区町村に対して情報の還元を行った。
- 効 果 多様なプログラムを通して、東京に豊かな自然が存在することをあらためて知るとともに、その大切さを実感することができた。また、自然の中で暮らすことにより、資源、エネルギーを使う日常生活を見直すことができた。
- 実施期間 平成19年4月14日～平成19年10月14日

○参加人数等

体験事業		実施日	期間	定員	応募者数	当選者数	参加者数	参加率
山の体験	奥多摩町①	5/26～5/27	1泊2日	40人	23人	23人	23人	57.5%
	奥多摩町②	7/23～7/25	2泊3日	40人	40人	40人	35人	87.5%
	奥多摩町③	8/27～8/29	2泊3日	40人	33人	33人	26人	65.0%
	奥多摩町④	9/23～9/24	1泊2日	40人	38人	38人	36人	90.0%
	奥多摩町⑤	10/13～10/14	1泊2日	40人	37人	37人	35人	87.5%
	檜原村Ⅰ	7/31～8/1	1泊2日	25人	101人	25人	23人	92.0%
	檜原村Ⅱ	8/16～8/17	1泊2日	25人	127人	25人	22人	88.0%
里の体験	東大和市	4/14	1日	30人	18人	18人	21人	70.0%
	あきる野市	4/28	1日	50人	34人	34人	29人	58.0%
	八王子市	7/21～7/23	2泊3日	100人	323人	100人	90人	90.0%
	日野市	7/28～7/29	1泊2日	50人	65人	50人	46人	92.0%
海の体験	神津島村	7/27～7/30	3泊4日	30人	114人	30人	29人	96.7%
	大島町	8/1～8/4	3泊4日	30人	100人	30人	23人	76.7%
	新島村	8/6～8/9	3泊4日	30人	153人	30人	29人	96.7%
	八丈町	8/22～8/25	3泊4日	30人	126人	32人	32人	106.7%
計				600人	1,332人	545人	499人	83.2%



海の体験



山の体験

3 みどり東京・温暖化防止プロジェクト助成金

○内 容 自然環境保護および地球温暖化防止についての普及、啓発を図ることを目的とする市区町村の自主事業に対して、1市区町村あたり年間100万円を上限に助成金を交付した。

○効 果 市区町村における普及・啓発事業について、新規事業実施の契機になると共に、既存事業の拡充を図ることができた。

○実施期間 平成19年4月1日～平成20年3月31日

Project. 2 情報の共有・相互利用環境の構築

1 温室効果ガス標準算定手法の共有化推進

- 内 容 温室効果ガス標準算定手法で23区の温室効果ガス排出量を算定した。
- 効 果 同一の温室効果ガス排出量算定手法で23区の排出量を算定、各区の温室効果ガス対策の基礎資料として提供し、活用が図られつつある。
- 実施期間 平成19年11月～平成20年3月

2 情報提供システムの構築

- 内 容 「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の周知、自然環境保護や地球温暖化防止に関する情報交換・交流の場として、ホームページを開設した。
- 効 果 「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」の情報提供により、情報の共有化が図ることができた。
- 実施期間 平成19年10月～平成20年3月

みどり東京
62市区町村共同

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

ようこそ オール東京62市区町村共同事業へ

東京都内の全62市区町村が連携して取り組んでいる
オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」を
ご案内しています。

共同事業とは

本年度事業紹介
キャンペーン
その他

報道発表資料

共同事業報告

今後の予定

主催団体
東京都市長会
特別区長会
東京都町村会

企画運営団体
東京市町村自治調査会
特別区協議会

62市区町村へのリンク

新着情報
平成19年10月3日 みどり東京・温暖化防止プロジェクトのホームページを立ち上げました。
共同宣言をいたしました。
共通ロゴを制定しました。

かけがえのない地球を守ろう
～一人ひとりの力をつないで～

共同宣言文

62市区町村の紹介
地図の名前をクリックして詳細をごらん下さい。(新規ウィンドウで開きます)

東京 26市、23区、5町、8村
(平成19年1月1日現在)

(市区町村の紹介は、東京都市長会、東京町村会、特別区協議会のデータを利用しています。)
区の紹介のみPDFです。
PDFファイルを見るためには、Adobe Readerが必要です。

オール東京62市区町村共同事業は、チーム・マイナス6%に参加しています。

本事業は、財団法人 東京都区市町村振興協会からの助成で実施しております。

オール東京62市区町村共同事業 Copyright (C)2007 財団法人特別区協議会 All Right Reserved

メインページ

Project. 3 市区町村横断での活動の場の提供

1 市区町村職員共同研修の実施

- 内 容 「地球温暖化防止と自治体の役割」、「都市のヒートアイランド」をテーマとして市区町村職員共同研修を実施した。
- 効 果 市区町村の職員が共通課題について、理解し、認識を深めることができた。
- 実施期間 平成19年7月25日～平成19年10月1日



校庭の芝生化の見学



校庭の温度測定

市区町村職員共同研修カリキュラム

講座1 テーマ「地球温暖化と自治体の役割」(講演会形式)

教科目	日 程	場所	内 容	講 師	受講者数
第1回 「地球温暖化の実態と将来予測 -映画「不都合な真実」から学ぶ	9月10日(月) 午後1時30分から4時30分	飯田橋3F	① 過去から現在までの気候変動の歴史を学び、太陽活動や火山活動など、様々な要因で気候が変化してきたことを学ぶとともに、最近の温暖化には人間活動の影響が明瞭に現れていることを理解する。 ② 映画・書籍「不都合な真実」を参照しながら温暖化対策について考える。	三上 岳彦	88名
第2回 「地球温暖化の影響について考える」	10月1日(月) 午後1時30分から4時30分	飯田橋3F	① IPCCの最新報告書に基づいて、温暖化の将来予測に関する最新の知識を修得する。 ② 地球が温暖化するとどのような影響が出るのか、雪氷・気象への影響(氷河の融解、異常気象の多発など)、生態系への影響、海面上昇、などについて解説する	松野 太郎 三上 岳彦	133名

講座2 テーマ:都市のヒートアイランド(シリーズ)

第1回 「ヒートアイランドの実態とメカニズム」	7月25日(水)	午後1時30分から4時30分	飯田橋3F 33	ヒートアイランド全般に関する講義とフィールドワークについて	三上 岳彦	29名
第2回 「ヒートアイランドの影響と対策を考える」	8月1日(水)	午前	杉並区立小学校	校庭芝生化見学体験 杉並区立和泉小学校	三上 岳彦 横山 仁	30名
第3回 「都市を冷やす公園緑地ークールアイランドの実態を探るー」	8月1日(水)	午後	新宿区立公園	観測体験 新宿区立新宿中央公園 サーモグラフィー利用(3名程度助手)	三上 岳彦	28名
第4回 「風の道に配慮した都市計画」	8月27日(月)	午後1時30分から4時30分	飯田橋3F 34	簡易シミュレーションソフト体験 独立行政法人建築研究所 パソコン利用	足永 靖信	27名